

防コミの歩き方



守られる側から守る側になる

●高羽防災福祉協議会(地域)紹介

高羽地区は、北に国宝の銅鐸が出土したことで有名な桜ヶ丘町があり、南は阪急電鉄を越え、山手幹線までと南北に長く、東は石屋川を境に東灘区と隣接している住宅地域です。

●活動紹介

高羽防災福祉協議会は、日頃より地域の防災力の向上を目指して、計画的に放水訓練や避難訓練、防災器具の点検等を行っています。

また、阪神・淡路大震災の教訓を後世に伝えるため、「1.17 高羽防災の日訓練」と称して、地区内の小中学校や幼稚園、保育園等と合同の防災訓練を毎年行うなど将来の防災の担い手を育成すべく、防災教育にも力を入れています。

●灘区初の防災ジュニアチーム結成！

阪神・淡路大震災の教訓を忘れることなく、将来の防災の担い手を育成していくため、訓練や研修を通して防災について学ぶ、灘区で初となる「鷹匠中学校防災ジュニア」を本年9月に結成しました。



ジュニアチームの結成で拳を突き上げる生徒

●守られる側から守る側になる

鷹匠中学校防災ジュニアは「守られる側から守る側になる」という目標を掲げ、地域の協力を得ながら自分たちが住む街を守るために防災訓練や防災学習を通して防災への意識を高めています。

「守られる側から守る側になる」という目標を掲げてはいますが、危ない！と思ったら、すぐに逃げる、自分の身の安全を1番として行動する、という指導も併せて行っています。

(灘消防署地域防災調整者)

●会長コメント

神戸市灘区で活動している高羽防災福祉協議会です。阪神・淡路大震災後の平成9年に会が発足して以来、地域の方々と共に様々な防災活動に取り組んでまいりました。

本年より新しい取り組みとして、神戸市立鷹匠中学校の生徒300余名を防災ジュニアに任命し、若い力と共に地域の防災活動に取り組むこととなりました。皆様、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。(高羽防災福祉協議会会長 前田博文)



生徒代表による決意表明